

2010年6月27日

レスキューロボットコンテスト実行委員会

競技グループ

第10回の注意点

第10回レスキューロボットコンテスト規定は、前回大会より以下の点が大きく変更されています。関係する箇所を確認の上、競技に参加するようにして下さい。

予選競技（規定 5.4.2）

予選競技は以下の点が本選とは異なります。

- ・ ガレキ・レスキューダミーの配置は予選当日の午前中に開示する。
- ・ プレゼンテーション、作戦会議および活動報告は実施しない。
- ・ 予選競技で使用する競技フィールドは、本選競技フィールドを縮小したものを使用する。また、コントロールルームからフィールドを目視することができる。
- ・ ヘリテレカメラは設置されない。
- ・ フィジカルポイントにタイムインデックスは含まれない。また、ダメージインデックスにはフラグモードを使用する。ミッションポイントには、個体識別ポイントは含まれない。代替ポイントとして救出現場への現場到着ポイントが含まれる。
- ・ 予選会ではヘルパーを設置しなくても良い。リスタート時におけるロボット回収作業は、リスタート申請時に審判の許可を得たチームメンバーが行う。

なお、予選競技において、ロボットがフィールド外へ出た場合、イエローフラグの後、リスタートを指示します。

予選にも関係する規定の変更

路上ガレキ（規定 2.1.1.F）

路上ガレキは、バンププレート、倒柱ガレキ、連結ガレキのみとなりました。

レスキュー活動開始時に係る制限事項（規定 2.3.1.C）

ロボットベース内の機材配置について、ロボットおよび交換部品等すべての機材が直接ロボットベースに接地することが必要になりました。

リスタートの流れ（規定 2.7.6.M）

リスタートボタンを押すまでに、審判へのリスタートの要請と審判の許可を得ることが必要になりました。

私有地エリア（規定 2.1.1.A.1）

救出および探索目的でロボットが侵入できるのは、探索ブロックのみとなりました。探索ブロック以外の私有地への侵入、探索ブロックの通路としての使用はイエローフラグとなります。

本選に関する規定の変更

救出（規定 2.7.3.C,E）

搬送完了時点において、フィールド上に救助指示が出されていないレスキューダミーが存在する場合には、チームに対して新たな救助指令が与えられるようになりました。救助指示が出ていないレスキューダミーに触れることはイエローフラグとなります

個体識別、個体識別ポイント（規定 2.7.3.B, 2.8.2）

個体識別の報告方法がコントロールルーム内に設置された PC による入力に変更されました。識別結果報告後、報告内容を変更することはできません。また識別ポイントは、識別した項目の数に応じて、そのレスキューダミーに対する個体識別ポイントが与えられます。

相手サイドのロボットへの接触（規定 2.10.2.E.5.ア）

相手サイドのロボットへ接触する場合は、相手チームおよび審判の承認が必要となりました。違反するとイエローフラグとなります。

相手サイドのレスキューダミーへの接触（規定 2.10.3.G.5.エ）

相手サイドのレスキューダミーへ接触する場合は、相手チームおよび審判の承認が必要となりました。違反するとレッドフラグとなります。

無線機器（規定 2.3.2.B）

レスコンボード用ソフトウェアを自作した場合、TPIPユーザコミュニティにソースを公開することが必要になりました。